

平成23年度

地域おこし協力隊の任期終了に係るアンケート結果

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

任期終了に係るアンケート結果 1

最終報告

○調査概要

平成23年度特交ベースで取組が報告された147団体(3府県、144市町村、413名)に対し、定住に関する取り組み状況や隊員の任期終了後の状況等について、調査を実施(※)。回答団体数及び隊員数については以下のとおり。

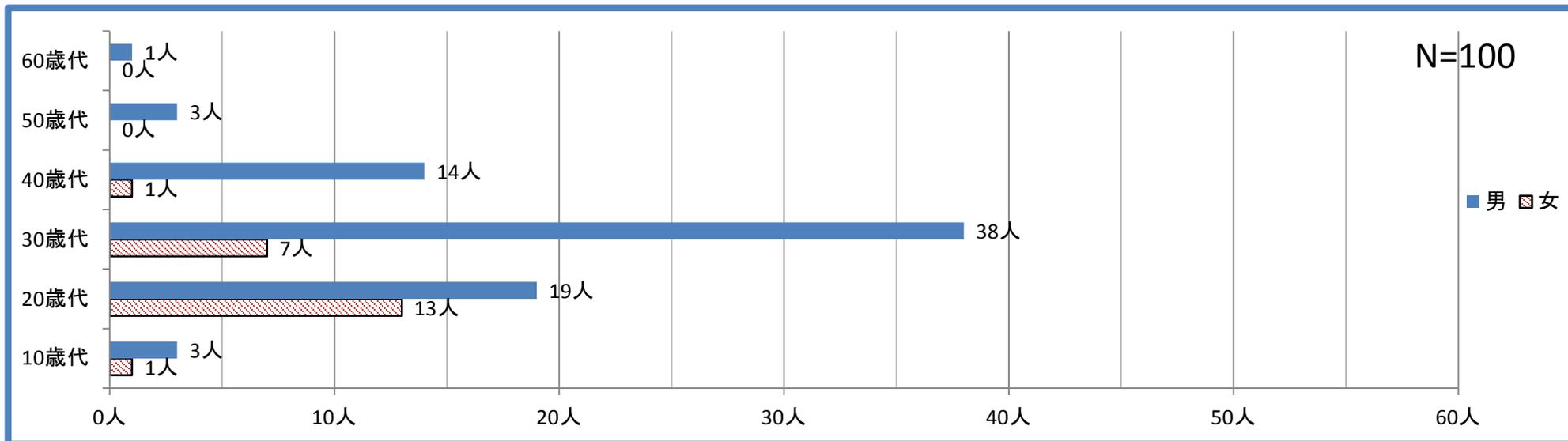
(※) 平成24年1月末時点における地域おこし協力隊員の状況である。

	回答団体の 隊員数	うち平成23年度任期終了の隊員数
都道府県	45人 (3府県)	40人 (2府県)
市町村	362人 (138市町村) (38道府県)	60人 (34市町村)
合計	407人 (141団体) (39道府県)	100人 (35団体)

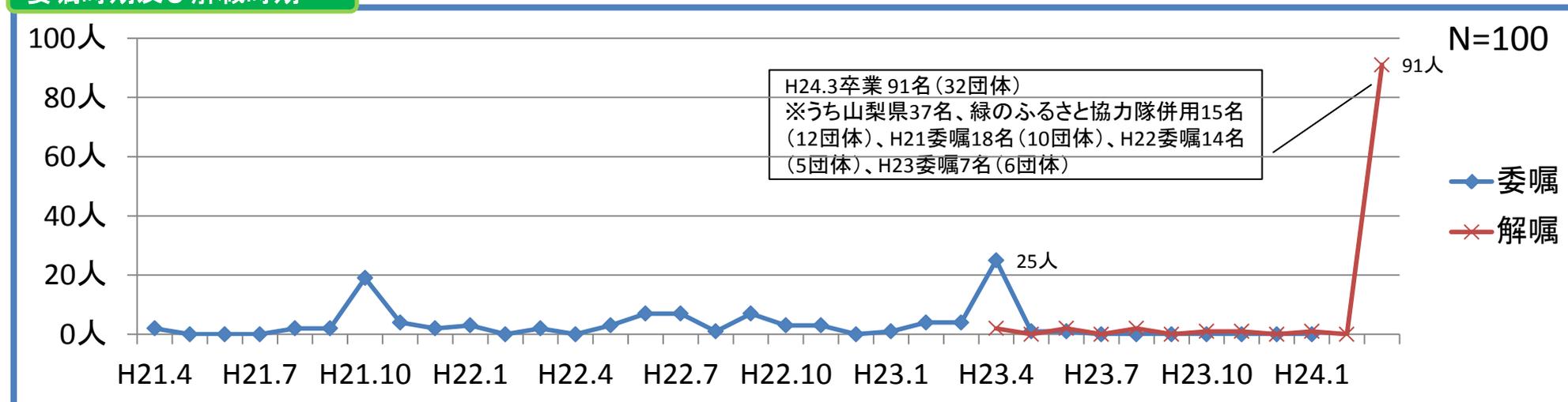
任期終了に係るアンケート結果 2

最終報告

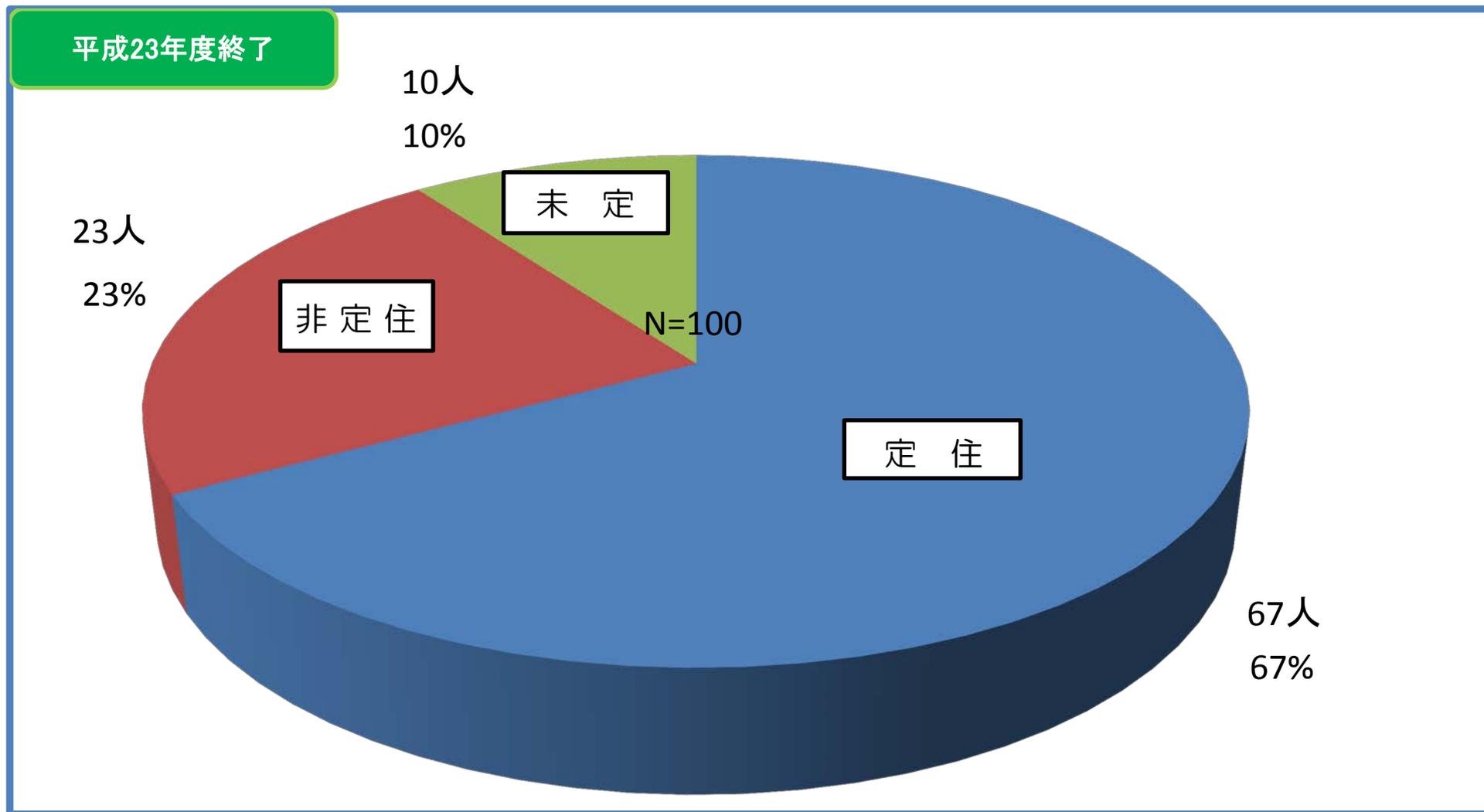
○平成23年度任期終了となる隊員基礎情報



委嘱時期及び解職時期



○任期終了後の隊員の動向



○起業・就業・就農等の動向

起業

- デザイン、造形業
- 飲食店経営
- 整体師
- 特産品販売
- 鍼灸院開設

就業

- 農業法人等の営農組織
- 移動販売
- 福祉施設
- 障害者の農作業の指導
- 森林組合従業員
- 県内物産会社
- 自治体職員(自治体施設を含む)
- 印刷出版
- 地元企業
- 道の駅職員
- NPO法人
- 地域再生関連組織(自治体出資の株式会社、移住交流コーディネーター業)

就農

- 水稲、野菜・果樹の栽培
- 有機農法による営農
- 認定就農者(キウイ農家)
- 農林業
- 就農に向けた農家での研修

その他

- 震災復興ボランティア
- 大学へ復学
- 就職活動等
- 集落支援員

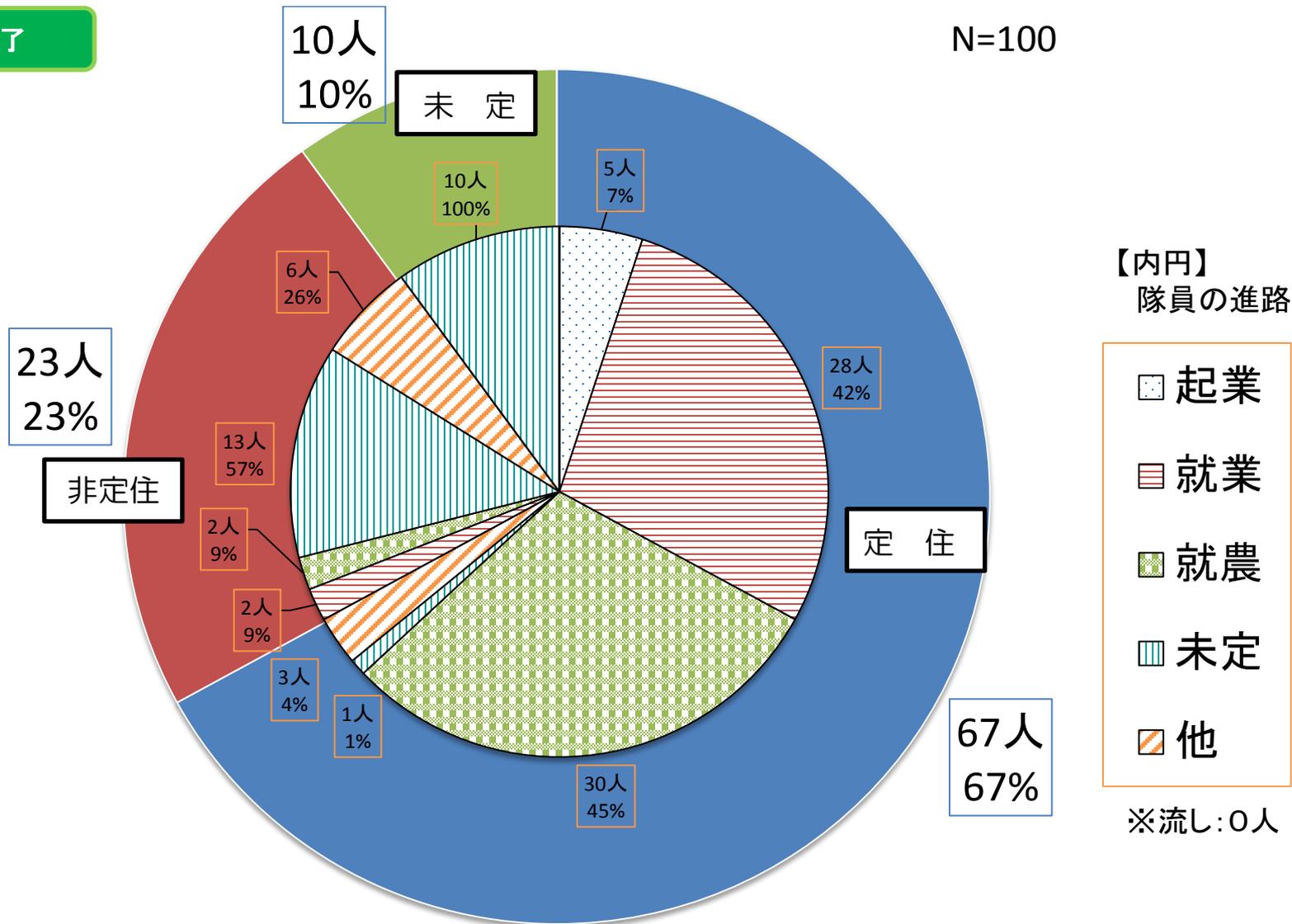
任期終了に係るアンケート結果 5

最終報告

○任期終了後の隊員の動向及び進路（動向別に整理）

平成23年度終了

N=100



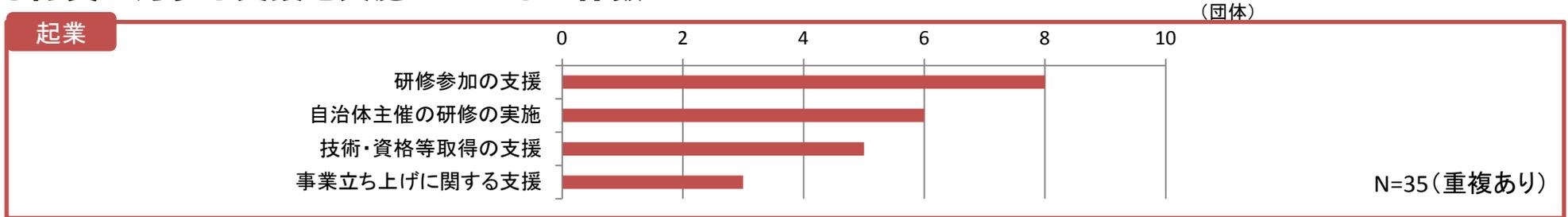
任期終了に係るアンケート結果 6 - 1

最終報告

平成23年度、隊員の任期が終了する自治体の対応状況(35団体、隊員100名)

【起業関係】

○隊員に対する支援を実施している団体数



研修参加の支援

- 地域おこし実践研修への参加の他、コーディネーターから隊員の活動レベルと意向に沿った研修の紹介を行うとともに、新規創業や助成に関する事業紹介を適宜実施
- 都道府県主催の研修会参加
- 県外NPO法人主催の地域おこしに係るコーディネートに関する研修受講への支援
- グリーンツーリズム関連の研修会
- 情報提供、旅費等経費支援

技術・資格等取得の支援

- 技術習得機会に関する情報提供や指導者のあっせんなどの支援
- 技術習得のための実証事業を展開(針灸実証)
- 県外NPO法人主催の地域おこしに係るコーディネートに関する研修受講への支援
- 就農支援団体、森林組合等と連携して実施
- 旅費・研修費を支給

自治体主催の研修

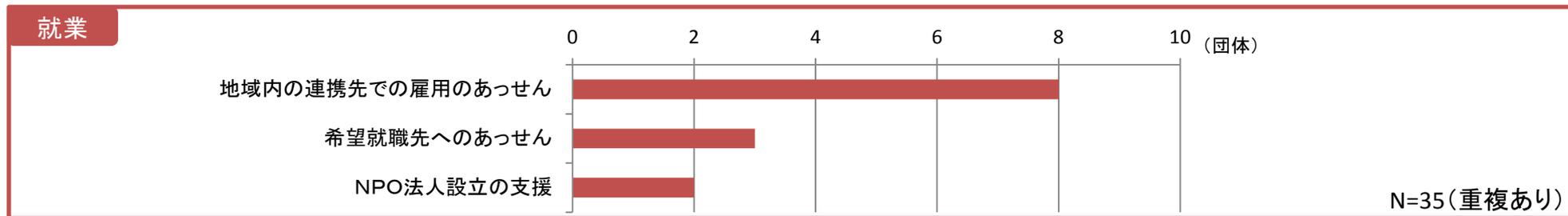
- 次世代の過疎地域を担う「里の人づくり」を進めるため京都府では「地域コトおこし実践者講座」を開催し、幅広い研修機会を設定。更に隊員自らが必要な知識を習得する機会として自主研修プログラムの実施準備
- 地域活性化伝道師をはじめ地域おこしに関する学識経験者を数回招き研修を実施。その他先進地視察
- 市地域雇用創造推進協議会研修会
- 地域づくり研修会
- 県と共同で「地域の助っ人サミット」を実施
- 起業セミナーなどを実施

事業立ち上げに関する支援

- 隊員と共同した事業立ち上げに意向のある者の紹介や支持者との引き合わせなど初期的段階の取り組みを支援
- 社会的企業・起業コンペ(内閣府事業)応募支援
- 町の起業支援事業や産業・雇用・定住支援センターでの相談

【就業関係】

○職員に対する支援を実施している団体数



地域内の連携先での雇用のあっせん

- 任期終了後の定住と所得確保のため、雇用のあっせん情報の提供を関係団体や関係者に依頼
- 町の観光案内所の仕事などのあっせん
- 市の嘱託職員へのあっせん
- 地域で運営している物販販売施設や木工体験施設での雇用のあっせん
- 森林組合にて林業・森林保全業務に従事
- 産業・雇用定住支援センター及び美郷町無料職業紹介所からあっせん
- 地元の道の駅より雇用の打診があり、就業予定

希望就職先へのあっせん

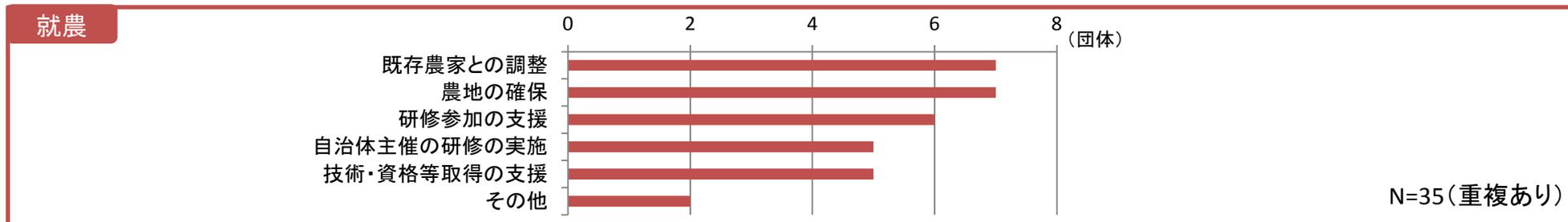
- 就職先への移行がスムーズにできるよう、現在の活動内容について配慮
- 関係機関を通じ、希望する職種へ就業できるよう調整
- 産業・雇用定住支援センター及び美郷町無料職業紹介所からあっせん

NPO法人設立の支援

- 立ち上げに向けて、検討中
- 設立相談。立ち上げ期の補助制度

【就農関係】

○隊員に対する支援を実施している団体数



既存農家との調整

- 生産環境の整備支援のため、農地のあっせんと技術指導を受けられるよう近隣農家と調整
- 研修先農家との連絡・調整
- 地域の若手農業者組織との交流
- 認定農家との共同生産、法人設立支援
- 地域に溶け込めるよう地域の慣習などを指導
- 就農支援団体と調整
- ふるさと村(佐用町まちづくり協議会)を紹介
- 就農予定地との関係を築くため、積極的に地域活動に参加

農地の確保

- 市町村における農地のあっせん
- 家庭菜園規模の畑は無償で貸与
- 農地の地権者、認定農家とのマッチング
- 協力隊員の意向を踏まえた就農地の確保
- 就農支援団体で確保
- ふるさと村(佐用町まちづくり協議会)を紹介
- 支援機関が中間保有する農地を隊員に貸与、信頼構築後は農地所有者と隊員との直接契約により、農地を確保する予定

研修参加の支援

- 県機関と情報交換しながら、国の研修制度への参加を検討
- 研修会へ参加できるよう、支援機関と調整
- 情報提供、旅費等経費支援
- 旅費・研修費を支給
- 研修に関する積極的な情報提供、参加の働きかけ

自治体主催の研修

- 技術研修(野菜、果樹)の開催
- 他の地域活性化事業に参画することによるOJT研修
- 新規就農支援として、農業法人指導者による研修実施
- 就農支援セミナーの実施
- 町主催の農業研修会に参加

技術・資格等取得の支援

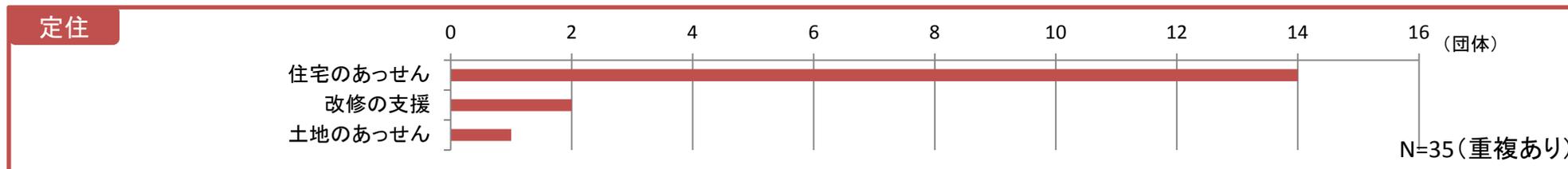
- 地元農業者に指導を依頼
- 認定農業者による技術指導、機械貸出の実施
- 認定就農制度に認定されるよう支援
- 就農支援団体で実施
- 旅費・研修費を支給

その他

- 資金貸付・住宅支援

【定住関係】

○隊員に対する支援を実施している団体数



住宅のあっせん

- 条件の合う隊員へ県住宅公社を紹介、市町村における住宅のあっせん
- 定住のための空き家を探るとともに、関係団体にも隊員の希望する借家提供を依頼
- 借家の持ち主との交渉契約等のあっせん
- 隊員と地域の関係は良好で、「空き家」を提供してくれるところは複数存在
- 空き屋情報の提供や家主との交渉を実施
- 現在市営住宅に入居中、空き家についても調査中
- ふるさと村(佐用町まちづくり協議会)を紹介
- 地域と連携しマッチングを図る個別対応
- 産業・雇用定住支援センター及び美郷町無料職業紹介所からあっせん
- 空き家紹介
- 地域の空き家などの情報提供を実施
- 村所有の教職員住宅を提供していたが、本人希望により移転

改修の支援

- 故障、修繕などの必要箇所に対する修繕の支援、家主への交渉
- 空き家改修事業

住宅のあっせん

- 産業・雇用定住支援センター及び美郷町無料職業紹介所からあっせん